



年末年始・全住区で餅つき会



年末年始、A. C I T Yでは各住区で賑やかに餅つき会が行われました。まず昨年12月24日にイースト住区、明けて14日にはパレット住区。続けてアーバン・ステージ・フォレスト住区が合同で開催し、最後がアリーナ住区で終了です。

今年準備したもち米は、全住区で45kg。住区の参加人数に合わせて分けると前日からもち米をつきやすい1回分の量にきちんと計量し水に浸して寝かせます。

餅つきはとにかく事前の準備とみんなの協力が大事。お湯を大量に沸かし、蒸し器にせいろに臼や杵と、重くてかさばる道具の準備など、どの住区も男性・女性が得意分野を分担して効率よく進めます。豚汁や焼き鳥、おでんやぜんざいなど、住区ならではの個性が光るオリジナルメニューもだんだん確立されてきました。初めて餅つきを経験する子ども達も、大人の見よう見まねや、経験豊富な先輩方のご指導で上手についたり丸めたり。

小雨の降る中での開催になった住区もありましたが、参加者の熱気で和気あいあいと温かいひとときが過ごせたのではないのでしょうか。新春を祝う日本の行事を次の世代に残せるよう、この餅つき会に来年もぜひご参加ください。

A. CITYの行事予定

2月10日(土) 有価資源ごみ回収日
2月18日(日) 自治会定例役員会
2月24日(土) 有価資源ごみ回収日
防災の集い

2月25日(日) 卓球大会
3月10日(土) 有価資源ごみ回収日

ANC 新年交歓会

(参加者73名)

年が明けて間もない1月8日(祝・月)に恒例のANC新年交歓会が盛大に開催されました。“はなおんぷ”の女性5人(バイオリン・クラリネット・ピアノ・打楽器)によるコンサートで幕を開けました。最後は全員の合唱で締めくくり、大満足で終了。第2部は、記念撮影の後、久しぶりの仲間と一緒にの楽しい懇親会です。時のたつのも忘れて最後はビンゴゲームで大いに盛り上がり、今年1年の健康を祈って午後3時頃に終了しました。

ANCでは、このような催しを含めて年に10回超のイベントを実施しています。楽しい仲間と交流の輪を広げませんか。希望される方は管理センターの入会申込書に記入し、申込用紙に記載してある住区幹事へご提出ください。後日、住区幹事がお伺いします。ご加入をお待ちしています。



2月3日A・CITY に4人の鬼現る!

今年、自治会福祉部は節分祭を企画しました。大々的に実施するのは初めての試みですが、当日は約80名の参加をいただき、予想を上回る参加にスタッフの顔もほころびます。

はじめは西田会長による、節分のおはなし(紙芝居)です。話の合間に子ども達に質問をすると、会場からは次々と手が上がり、中にはユニークな回答で場が和みます。次に飯田相談役から「季節を分けることから節分」というお話や、日本の伝統や文化についての説明がありました。

そしていよいよメインの豆まき。急に周りが暗くなったかと思うと、恐ろしい音楽に合わせて4人の鬼が登場。あまりの迫力に怖くて泣き出す子ども、みんな鬼の顔を目掛け、必死に豆をぶつけます。しばらくすると鬼たちが降参して逃げて行きました。鬼退治終了です。

会場では実際に豆を炒ったり、鬼が嫌いなもの「イワシの頭」や「柊(ヒイラギ)」も用意。初めて見る子ども達も、手に取って興味深そうに見ていました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は鬼たちと一緒に笑顔で記念撮影。今後自治会では、日本の伝統や文化を体験できるイベントを企画する予定です。是非ともご家族でご参加ください。

なお、当日は予定よりも早く会が終了したため、参加ができなかった方もおられましたことを、この場を借りてお詫び申し上げます。



体育部

卓球大会参加者募集

2月25日(日)に大塚小学校体育館にて卓球大会が開催されます。お申し込みは自治会回覧板または各住区の体育部員まで!

卓球大会選手募集案内

2月25日(日) 大塚小学校体育館
今年度最後の体育イベントです!

団体戦(午前中に町内会・自治会ごとの対抗戦)
1チーム6人編成(女性1名以上)ダブルス×3戦
個人戦(午後から)
男子の部(「一般の部」「中高生の部(卓球部所属)」)
女子の部
小学生の部(午前中に団体戦と並行)



※申し込みは回覧板にて(近日中)

連載エッセイ「咲くやこのはな」 第11回く防災マップの完成

【前回のあらすじ】

ゴールが見えてきた飯田さん。最後に実現したかったのは防災マップでした。



費用面で課題のあった防災マップ。それもそのはずで、私が作りたかったのは、紙ベースのマップではなく看板タイプのものでした。それも幅1.2mほどもある本格的な住居地図のようなマップです。それをA.CITYの各住区ごとに設置しようというのですから最低でも6台必要でした。補助金で賄えるのは製作費の1/3程度。もちろん自治会費にそんな余裕はありません。どうしたものかと頭を抱えました。

しかしあきらめきれません。A.CITYの住民全員に、土砂崩れの危険性がある法面、害獣被害が頻出するエリア、もしも災害が起こったときの避難場所や避難経路を伝える責任が私にはある。

住民の命を救いたい、暮らしの安心が自治会によって担保されている町を目指したい。そう思って自治会長になったのです。お金がないから、危険を伝えることができませんでしたとは言えません。役員会であれでもないこうでもない模索していたところ、アーバンの住区長・若本さんが、こんな申し出をしてくれまし

た。「飯田さん。マップのデザイン、できるかどうかわかりませんが私がやってみますよ」

私は驚きました。看板のデザインというのは非常に高額で、基本になる地図をイチから製作すると30万はくだりません。それに修正を重ねていくと50〜60万はすぐに超えるとのことでした。それを全くの素人がやってみると言うのです。荷が重いのではと感じましたが、それは杞憂に終わりました。彼女はなんと文書作成ソフト(ワード)で、鮮やかな地図を作ってきたのです。これにいちばん驚いたのは見積を作った看板業者です。ワードで作ったとは思えない。このまま看板にできるクオリティです、とお墨付きをいただきました。これでデザイン料はなくなりました。若本さんはその後も私の執拗な(笑)修正を辛抱強く受け止め、ミリ単位での調整を重ねてくれました。何十回修正したのか覚えていないほどです。

同時に私は管理組合に、資金援助の協力を働きかけていました。管理組合は建物の保全や資産価値を維持する以外に、住民の命や安全を守るための環境を整える義務があるのではないかと、毎年消防訓練をしているのもその一環でしょう。ぜひ防災マップの設置に協力してほしいと理事会に繰り返し申請した結果、住区予算でマップ設置を支援して

もらえることが承認されました。こうして防災マップが設置されました。

(続く)



A.CITYの防災士紹介



ヒルズ
パレット
西田光憲
(敬称略)

連載 《ヤマさんの防災コラム》

いつも心に防災を

通電火災

「通電火災」(つうでんかさい)という言葉をご存知でしょうか。大地震が発生して広範囲で停電。復旧作業が進んで電気が通じたとき、地震で倒れ

ていた電気製品が再び作動。これが火元となって起こる火災のことです。

阪神大震災で発生した火災の6割が、東日本大震災で発生した火災の5割が、通電火災を原因とするものでした。その事例は、

- ・倒れた電気ストーブが作動して周りの物に引火。
- ・破損して水が抜けた水槽で、鑑賞魚用水槽ヒーターが作動発熱して出火。
- ・コンセントから抜けかかっているプラグに電気が流れ、埃などに引火。

など：

通電火災の怖さは、地震とともに発生せず、避難が進み現地に人が少なくなつてから発生するので、初期消火が遅れ、地震で錯乱した家具などに引火して、あつという間に火災が拡大することです。阪神大震災で、通電火災を体験された方の言葉が、その恐怖を物語っています。

「地震の直後、家族、建物の無事を確認。津波の心配もなし。とりあえず一安心。停電が復旧してほっとした矢先に襲ってきたので余計にショックが大きかった。火災が発生しなかったら、もっとたくさんの方が助かったはずだ。」対策はただ一つ。「ブレーカー」を落として避難することです。心に刻んでください。



草津白根山が1月23日に噴火し、噴石により貴い命が奪われました。

広島に住んでいる私たちは火山活動による直接的な被害を受けた経験がありませんが、過去に遡ると島根県三瓶山の大噴火があります。三瓶山最後の噴火（約4千年前・縄文時代後期）により森林が埋没しました。当時の地表面が火山灰（約10mの厚さ）などに覆われており、大規模な噴火であったことが窺えます。

広島県北部の田んぼの土と大塚あたりの土の色に違いがあることをご存知ですか？

北部域の土は真っ黒です。これは先に述べた約4千年前の火山灰で「黒ボク」と言われている真っ黒な土が原因で、現在もこの火山灰の影響を受けているといえるでしょう。この火山灰堆積状況は、県北域の崖法面で見ると表土の直下に堆積しています。また、三瓶山の埋没林は、島根大田市の三瓶小豆原埋没林公園で見学できます。

（フォレスト防災士・山田繁樹）



庄原市高野町・道の駅近辺の崖面→

●自治会総会のご案内

平成30年3月25日(日)

場所 管理センター

大ホール

時間 午前11時

平成二十九年度自治会総会を
右記の日程で開催いたします。

決算報告・来期活動計画及び予算案・規約改正案など報告・提案・協議します。また平成二十六年から採用している動画での年間活動報告を今年も予定しています。ぜひ今年もご参加ください。

管理組合からのお知らせ

《漏水にご注意ください！》

年末年始にかけて、ヒルズの各住区におきまして、専有部分の配管（主に給湯系統）からの漏水が数件発生しました。

現状、ヒルズの各住区合計で年間約20件発生しています。配管は床や壁により通常は見えない場所に設置されていることから、漏水に気づくことが遅くなりがちです。

床上下での水の気になる音、水の染み出し等、ありましたら、管理会社に問い合わせください。一時的な対応が行われ、漏水の可能性が高い場合、専門業者を紹介されます。また、漏水時調査費及び他住戸への賠償費用に関する保険手続きを行います。



管理組合 新理事長よりご挨拶

【ヒルズフォレスト管理組合】 理事長・久岡 保徳

第23期理事長を務めますI番館の久岡と申します。

A.C.I.T.Yの住民となり20年が経ちました。今以上の快適な生活ができるように、皆様にご迷惑おかけしないように努力したいと思っています。

1年間お世話になります。よろしく申し上げます。

ヒルズフォレスト管理組合 久岡 保徳

※今月号は『規約でアタック』を休載します。